

評価者	共創計画部長	比留間 彰
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進
目標とすべきまちの姿	交通不便地域の解消やバスや駅のバリアフリー化が進められ、市民が快適に公共交通機関を利用するようになっています。 公共交通機関の利用が促進されることにより、生活道路の渋滞が緩和されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	25.1%	平成30年度(2018年度)	17.7%	平成29年度(2017年度)	20.7%
	平成28年度(2016年度)	17.8%	平成27年度(2015年度)	21.9%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	0.8%	0.6%	0.6%
	ちょうどよい	1.1%	32.3%	1.1%
	効果不十分	3.5%	7.5%	21.6%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	1.3%	1.7%	0.5%
	ちょうどよい	0.7%	37.5%	1.5%
	効果不十分	3.6%	5.6%	25.3%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	0.4%	1.2%	0.5%
	ちょうどよい	1.6%	36.2%	1.4%
	効果不十分	3.0%	7.2%	22.5%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	0.7%	1.8%	0.7%
	ちょうどよい	1.2%	41.6%	1.6%
	効果不十分	1.4%	3.6%	24.2%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	0.0%	1.0%	0.1%
	ちょうどよい	0.1%	38.1%	2.0%
	効果不十分	0.7%	4.1%	25.6%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	32.5%	31.5%	5.6%	30.4%
平成30年度(2018年度)	40.8%	34.2%	2.8%	22.1%
平成29年度(2017年度)	36.9%	33.9%	3.2%	26.0%
平成28年度(2016年度)	35.5%	39.6%	2.0%	22.9%
平成27年度(2015年度)	35.2%	35.8%	1.4%	27.6%

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①エレベーターが設置されていない利用客数3,000人/日以上(湘南モノレール湘南深沢駅)に関し、交通事業者と協議し、エレベーターの設置に向けた準備を進める。(共創-07)
- ②鉄道の輸送力向上については、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行う。(共創-07)

### (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①市民が快適に公共交通機関を利用するために、交通事業者と協議し、湘南深沢駅へのエレベーターの設置に向けた調整を進めて、駅のバリアフリー化を推進していく。(共創-07)
- ②鉄道の輸送力向上について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行い、輸送力の向上をすることで公共交通機関の利用促進していく。(共創-07)

### (3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
共創-07	公共交通支援事業	0	16,666	0.5	0.5	無	b	A

### (4) 主な実施内容

- 【主な実施内容】**
- ①エレベーターが設置されていない利用客数3,000人/日以上(湘南モノレール湘南深沢駅)に関し、エレベーターの設置に向けて、交通事業者と協議を行った。(共創-07)
- ②鉄道の輸送力向上については、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行った。(共創-07)

### 【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善
<p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した事業に着手に取組んだが、駅等の利用者にとっての利便性は全て改善されておらず(昇降機利用に時間制限があるなど現時点で改善の見込みがたっていない箇所)、その対応が求められている。(共創-07)</li> <li>・また、公共交通(特にバス路線)の廃止や減便などが進み、公共交通に代わる新たな移動手段が求められている。(共創-07)</li> <li>・このため、有効性、公平性を要改善とした。(共創-07)</li> </ul>		

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	共創-07	事業名	公共交通支援事業						
指標の内容	3,000人/日以上利用がある市内の駅のうち、バリアフリー化を達成した駅の数				単位	駅	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
移動等円滑化の促進に関する基本方針において、3,000人/日以上利用がある駅はエレベーター設置等のバリアフリー化をするよう義務付けられているため。	目標値	18	18	18	18	18	18		
	実績値	13	14	16.5	16.5	17	17		
	達成率	72.2%	77.8%	91.7%	91.7%	94.4%	94.4%		